

平成27年度 教育事業

再会, 海からのメッセージ

～仲間との再会, そして, これからの飛躍を誓い合おう!～

- 1 趣 旨 「海からのメッセージ」を振り返り, それぞれの成長を確かめ合うとともに, 絆をさらに深め, 新たな目標に向けてのスタートの機会とする。
- 2 期 日 平成28年1月10日(日)～1月11日(月)
- 3 参加対象 平成27年度 海からのメッセージ参加者 及び ボランティア
- 4 参加者 12名(小学生9名 中学生2名 高校生1名)
- 5 指導者 国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア5名



6 日 程

1日目(1月10日)		2日目(1月11日)	
13:30	受付 ★自然の家本館	6:00	起床・清掃
13:50	再会のつどい	7:00	朝のつどい
14:30	<交流活動①>「オリエンテーリング」 ～班でステージをクリアしよう～	7:30	退所点検・荷物移動
16:00	<交流活動②>野外炊飯「豚汁・ご飯」 ～協力して料理づくりをしよう～	8:00	朝食
19:00	<交流活動③>「ソフトバレーボール」 ～班対抗戦をして交流をしよう～	9:30	<クラフト活動>「サンドスケッチ」 ～思い出を形にしよう～
20:30	入浴・自由	11:30	感想交流
21:45	就寝準備	12:00	昼食
22:00	消灯	13:00	別れのつどい
		13:20	解散 ★自然の家本館

7 事業運営について

- (1) 「海からのメッセージ」の振り返りができるように, スライドショーを視聴したりワークシートを活用したりして活動が活発になるようにした。楽しく体験活動をするだけでなく, 夏の活動の振り返りや今後の生活に対する目標設定ができるように, 書く時間と感想交流の時間の確保を行った。
- (2) 各活動のねらいに応じて, 個人での活動, 班での活動, 全体の交流というように活動形態を工夫し, 全体の流れがスムーズに進むようにした。
- (3) 野外炊飯やクラフト活動など, 「海からのメッセージ」では実施できなかったプログラムを企画することで, なお一層, 自然体験活動ができるように工夫した。



8 事業の実際

- (1) 再会のつどいは, 夏の活動の振り返りができるようにスライドショーを視聴した。写真を見ることで出来事を徐々に思い出し, 互いに笑顔や会話が見られるようになっていた。その後, 思い出の出来事や場面をワークシートへ記入する時間を設けた。



- (2) 交流活動①の所内オリエンテーリングは、班で話し合ってルートを決めたり、役割分担をしたりしながら、課題解決へ向けて協力して取り組む姿が見られた。
- (3) 交流活動②の野外炊飯は、班内で仕事分担をし、協力して調理することができた。夏には、野外炊飯の時間が十分に確保することができなかったため、参加者は真剣に取り組んでいた。
- (4) 交流活動③のソフトバレーボールは、班対抗戦を行い、全員で交流することができた。初めは慣れない動きが見られたが、少しずつ上達するにしたがって、楽しみながら体を動かすことができた。苦手な子には、リーダーや班のメンバーが声を掛けたりアドバイスをしたりすることで、次第に笑顔が増えて楽しむことができた。
- (5) クラフト活動は、「海からのメッセージ」の1番の思い出の場面を素材にサンドスケッチを行った。前日の振り返りの時間に記入した内容をもとに、各自が思い出を形にすることができた。
- (6) 別れのつどいの前には、これからの生活に向けての自分の目標やがんばりたいことをワークシートに全員が記入した後に、感想交流を行う時間を確保した。感想交流では、全員が自分の目標をしっかりと発表することができていた。



9 成果と課題 (○成果 ●課題)

- 初めは緊張感も感じられたが、すぐに打ち解け、どの活動も楽しく取り組むことができていた。控えめな子も、ボランティアの働きかけで徐々に笑顔が増え、子供同士の関わりも活発になってきていた。
- 「海からのメッセージ」の活動を通して、所属感や連帯感をもった仲間との「再会」は、なお一層の絆やつながりを深めていくとてもよい機会であり、意義深い事業となった。
- 班の旗や活動中の写真を掲示するなどして、さらに雰囲気作りをしておくとうれしかったと感じた。

10 参加者の今後の目標や感想

- 学校の委員会活動のあいさつ運動やボランティアをがんばりたい。そして、今までチャレンジしたことがないことや難しい問題をやってみたい。また、困っている人などがいたら勇気を出して声を掛けたい。
- 人が喜ぶことや手伝いをしていきたい。また、自分がやってもらってうれしいことや自分が困っている時にしてほしいことなどをしたい。
- 苦しい時でもがんばることや継続すること。とにかく色々なことにチャレンジしたい。
- 家庭生活では、自分から動いて家事もやるようになったので、家族も喜んでくれています。

11 ボランティアの感想

- 今回は約五ヶ月後に再会するという事業だったので、子供たちの成長を感じました。体の大きな成長は見られなくても、チームでがんばるといった協調性や下の学年の子を引っ張っていくリーダー性が前回よりもできていたように思えました。あと数ヶ月でまた一つ学年が上がり、中学生になったり、最上級生になったりと新たな立場になってくると思います。その時に、この経験を生かしてがんばってほしいと思います。
- ボランティアとしての経験を積み、子供たちや他のボランティアの方々に目を配る余裕ができたように思います。声掛けなどもっと丁寧にして、関わっていけたらと思います。後輩ボランティアに楽しさを伝えながら一緒にがんばっていけるようにしたいと思います。